

ゴージャスお宝鑑定家「うーん、  
ゴージャス！」40

キャスト

剛田…ゴージャスな品物しか鑑定

しない剛田質店の店主。優雅な言動  
と所作でクセが強いが、どこか憎め  
ない存在。口癖は「ゴージャス！」

白金…剛田質店の見習い鑑定士。常  
識的な価値観を持ち、剛田に振り回  
される神経質で心配性な青年。

謎の依頼人（麗華）…今回の依頼人。  
上品だがどこか怪しい雰囲気を持  
つ女性。

第一幕…オープニング

（剛田質店内。豪華なシャンデリアが輝き、棚にはキラキラしたアイテムが並んでいる。白金が一心不乱に棚を拭いている。）

白金（独り言）…なんでマウスパッドなんかを鑑定するって話になったんだろう…。剛田さん、本当にこの仕事大丈夫なのかな？

剛田（店内奥から優雅に登場）…白金君、何をぶつぶつ言っているのかね？ゴージャスたるもの、いつも優雅に！

白金…（驚いて）剛田さん！何度も言いますけど、優雅って棚拭きには関係ないですよ。

剛田…ふむ、白金君。それが凡人の発想というものだよ。棚を拭く行為すら、ゴージャスにしないで！

白金…（ため息をつく）それにしても、  
今日は本当にゴージャスなマウスパッ  
ドなんてものが来るんですかね？

剛田…来るとも！ゴージャスな品は、我  
が店の運命を引き寄せるのだ。

（カウベルの音が鳴り、麗華が入店す  
る。）

麗華…ごきげんよう。

剛田（すぐに駆け寄る）…おや、これは  
これは！ゴージャスなオーラをお持ちの  
方だ！

白金…（心の声）ゴージャスってどんな  
オーラだよ…。

麗華…本日、こちらで品物を鑑定してい  
ただきたく参りました。

剛田…もちろん、もちろん！その品をお見せください。

（麗華が慎重にバッグから輝くアクアマリン製のマウスパッドを取り出す。店内が一瞬ざわめくような演出。）

剛田…（目を見開き）うーーん、ゴージャス！

白金…（絶句）

## 第二幕…鑑定開始

（剛田と白金がカウンターに座り、マウスパッドを前に真剣な表情を見せる。）

剛田…さて、この品の本質を見極めねばならない。

白金… 剛田さん、マウスパッドですよ？  
これ、どんな価値があるっていうんですか？

剛田… いいかね、白金君。アクアマリンだぞ？アクアマリン！

白金…（半信半疑で調査を始める）…確かに素材は本物のアクアマリンですね。でも、これを日常使いする人、いるんですか？

剛田… 日常をゴージャスにしたい人なら、いる！

麗華… 実は、このマウスパッドにはもう一つの秘密があるのです。

剛田・白金… 秘密？

麗華… それは…このマウスパッド、100年前のある貴族が所有していたものなのです。

剛田… ほう、まさにゴージャスの極み！

白金… いやいや、マウスパッドの起源は  
そこまで古くないはず…

剛田… 白金君！ゴージャスな物に常識は  
通じないのだよ。

白金… (困惑顔)

剛田… さらに、このアクアマリンには石  
言葉がある。「希望」と「癒し」だ！こ  
れを持つ者は、その手で夢をつかむ！し  
かも優雅に！

白金… (呆れ顔) 石言葉でマウスパッド  
の価値を語る人、初めて見ましたよ…。

### 第三幕… 鑑定の結論

(剛田がルーペを持ちながらマウスパッ  
ドをしげしげと見つめる。)

剛田…ふむ、見れば見るほど美しい。素材の輝き、歴史の深み、このすべてがゴージャスという言葉に集約されている！

白金…（小声で）ただのマウスパッド…

剛田…（突然立ち上がり）よし！これは試してみるしかない！

白金…えっ、試すってどういうことですか！？

（剛田がマウスパッドをセットし、パソコン操作を始める。優雅な手つきでありながら、尋常ではない速さで作業をこなす。）

剛田…この滑らかな動き！まさに優雅の極みだ！このアクアマリンが、私の手に生命を吹き込んだかのようだ！

白金…（ツツコミ）優雅な動きはいらないでしょ！普通に使ってくださいよ！

剛田…白金君、普通という言葉はこの場に似合わない。

白金…（さらに困惑）

麗華…（微笑みながら）気に入っていただけたようで、光栄です。

剛田…気に入ったどころか、私の魂を震わせた！この品はまさに奇跡だ！

#### 第四幕… 依頼人の背景

（麗華が話し始める。場面が一瞬暗転し、回想シーンが挿入される。）

麗華（ナレーション）…実はこのマウスパッド、私の亡き祖母が愛用していたものでした。祖母は名の知れた貴族の血を

引いており、この品をととても大事にして  
いました。

（回想シーン：若き麗華の祖母がマウス  
パッドを眺めて微笑む姿。）

麗華…祖母が亡くなった後、どうしても  
手放せなかったのですが、経済的に厳し  
い状況に追い込まれて…

剛田…（真剣な表情で）なるほど。そん  
な背景があったとは。ますますゴージャ  
スだ。

白金…（感動しつつも疑問）…でも、そ  
れって本当に貴族が使うような品だっ  
たんですかね？

剛田…白金君、黙りたまえ。品物の背後  
にある物語こそが、その価値を決めるの  
だよ。

## 第五幕… 金額発表

（剛田がマウスパッドを再び手に取り、  
値段を決めるために思案する。）

剛田… この品の価値は計り知れない。し  
かし、数字として表すなら…

白金…（緊張）

剛田… 500万円だ！

白金…（驚愕）500万円！？

麗華…（涙ぐみながら）ありがとうございます  
います…これで母の治療費が支払えま  
す。

白金…（感動しつつも複雑な表情）

剛田… ゴージャスな品には、それ相応の  
価値があるのだ。

## エピソード

（深夜の剛田質店。剛田が再びマウスパッドを使い、優雅にパソコンを操作している。）

剛田…この滑らかさ、やはりゴージャス！

（翌朝、剛田が目をこするシーン。白金が店に入ってくる。）

白金…（呆れながら）剛田さん、目が真っ赤じゃないですか！

剛田…夜通し、このマウスパッドの素晴らしさを堪能していたのだ。

白金…眼精疲労になるなんて、何がゴージャスですか！

剛田…（反省するふり）ゴージャスも健康には勝てぬか…

白金…（一喝）だから言ったでしょ！優雅な動きはいらないうって！

剛田・白金…（一緒に）うーん、ゴー  
ジャス！

（シャンデリアの輝きと共に、幕が下りる。）

終わり。

## 尺割

### 第一幕… オープニング（約10分）

1. 剛田と白金の掛け合い、依頼人の登場。

2. コメデイ要素の導入と舞台設定。

### 第二幕… 鑑定開始（約20分）

1. 剛田の独特な鑑定スタイルの描写。
2. アクアマリン製マウスパッドを試し、剛田が優雅にパソコン操作するコメディシーン。
3. 白金のツツコミが増え、テンポの良い会話が展開。

### 第三幕：鑑定の結論（約5分）

1. マウスパッドの価値を剛田が大げさに評価。
2. 剛田の熱弁、石言葉の解説。
3. コメディとシリアスのバランスを取りつつ、緊張感を演出。

### 第四幕：依頼人の背景（約20分）

1. 回想シーンを交え、依頼人の背景が明らかに。
2. 感情的な要素が加わり、ストーリーが深みを増す。

## 第五幕.. 金額発表 (約10分)

1. 剛田が豪快に金額を発表。
2. 白金の驚愕と依頼人の感謝で感動的なシーンに。

## エピローグ (約10分)

1. 深夜の剛田の行動と翌朝のやり取りで、コメディタッチに幕を閉じる。